

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
デッサン基礎 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	加藤正・山内唯志			実務 経験	有	職種	版画家、デッサン指導員				
授業概要											
デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や描画力を高めます。初級者は基礎力を養います。											
到達目標											
デッサンの基本的要素(構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など)を理解する。また、自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものを見る力(観察眼)を養うことで同様に自身の作品に反映させることができるようになる。											
授業方法											
鉛筆でのデッサン実技が授業の主体になる。これまでデッサンの経験の有無は個人差があるため、描き易いモチーフから授業を進めていく。一つの課題が終わるごとに課題作品を講評する。他者の作品と比べることにより、自分の絵のくせや個性を発見できる。描く速度を向上させるために各授業毎に人物クロッキーを5分x2回実施する。											
成績評価方法											
課題作品の評価を主体とする。また、授業参加度や授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業開始時に実技のポイントなどを説明するので遅刻厳禁。クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴムは毎回持参すること。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げるように留意すること											
教科書教材											
クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴム。参考書・参考資料等は授業中に指示する											
回数	授業計画										
第1回	【ガイダンス、鉛筆での明暗の階調】デッサンをする上での道具や用具の使い方について理解する										
第2回	【幾何形体(多面体)を描く】基本的なデッサンのプロセスを理解する										
第3回	【幾何形体(球、円柱、円錐)を描く】明度の違いは、光源との距離と光源に対する面の傾きによって決まる事を理解する										

2021年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科四年制

デッサン基礎1

第4回	【幾何形体(複数)を描く】構図に注意し、遠近感を出すことに考慮する
第5回	【物を持つ手を描く】形態の把握と質感の違いを理解し、表現に結びつける
第6回	【ビンを描く】透明感のある物の描き方を習得する
第7回	【静物デッサン】構図と質感を考慮して描写する
第8回	【足の石膏デッサン】空間の認知
第9回	【石膏像デッサン(1)】基本的な石膏像デッサンのプロセスを理解する
第10回	【石膏像デッサン(2)】質感、量感、明度などに注意し、存在感のある作品に仕上げる
第11回	【靴を描く】形態の把握と質感の描写
第12回	【紙風船を描く】質感や色味の表現を理解する
第13回	【想定デッサン(紙風船)】イメージの表現の仕方を理解する
第14回	【静物デッサン(牛骨、三輪車、鳥など)】構図と質感、存在感などを考慮して描写する
第15回	【人物スケッチ、クロッキー】人体のプロポーションを理解する